

防犯訓練



- 目的：** **生徒** 不審者に遭遇した場合の身の守り方を知り、校内に不審者が入った場合の対策を考えることができる。
不審者の発生状況を知り、防犯意識を高めることができる。
教員 不審者が侵入した際の対処法を理解し、防犯訓練を通して生徒の安全を守る力を高める。
- 日時：** 令和7年9月10日(水) 第5校時
- 場所：** 袋井南中学校各学級
- 進行：** 13:05～ 犯罪に関する指導
 昨今の犯罪状況 日常における不審者対策 不審者対応の事例
 13:18～ 話し合い～通学路や市内の様々な場所の危険箇所について
 13:20～ 実践～①バリケードづくり ②椅子の盾
 ①教室の片側に、室内の机の半分を利用してバリケードを作る
 ②2人1組になり、椅子を持ち上げ、盾にする体験を行う
 13:45～ 振り返り：心に残ったこと・今後の生活に生かしたいこと



【不審者に遭遇した場合の対処法】

- 『いかのおすし (おにはいやだよ)』
 - ①いか～行かない ②の～乗らない ③お～大声で叫ぶ
 - ④す～すぐに逃げる ⑤し～知らせる
- 不審者による被害は袋井市でも起きている。
 - ・女子生徒の方が被害にあう確率が多い
 - ・下校時、道路での発生が多い

【対策】

- 一人での登下校を避ける (複数人で登下校するように心掛ける)
- 人通りの少ない道路、死角の多い道路、車で走り去りやすい道路などは要注意 (通学路の安全確認を再度、行う)

袋井市だけでも不審者による犯罪発生数は令和6年には48件もあり、そのうち7件が南中学区周辺で起きていることが分かった。下校中の犯罪が多いので細い道や見通しの悪い道、一人での登下校を避けるなど、日頃から対策をしていきたい。

不審者が学校に入ってきたから、自分たちの学級に来るまでにバリケードを正確に素早く作る必要がある反面、それを作ることの難しさも体験することができた。不審者に抵抗することもかなりのリスクがあるが、クラス全員で協力することが一番の武器だと思った。

下校中などの帰り道で犯罪に巻き込まれてしまうことが多いということが分かった。人通りがなるべく多い安全な道を選択したいと思った。他人事ではなく、自分事として考え、備えていきたい。

簡単なバリケードや椅子などではすぐに破られてしまいますこともあるので、守りを固めた方がいいと感じた。不審者が入ってきて“抵抗”をしなければいけない時、防御する術を常日頃から考えておきたい。

やはり女子の被害が圧倒的に多かったが、男子の割合も20%近くあったため、少し驚いた。不審者といえば声掛けやわいせつ行為などだと思っていたが、殺人などの恐ろしい人も不審者に含まれていた。そんな人達に遭遇してしまった時の対処法を知りたいと思った。

普段、バリケードを作ったり、椅子を持ち上げたりしないため、教室にバリケードを作ることは初めての経験で難しかった。上や下からも簡単に侵入可能だったため、全て防ぐように組み合わせるのは大変だった。椅子だけでなく、身近にある棒や消毒などでも応戦できることが分かって良かった。